

# 島根益田信用組合の経営内容について

～ 平成 26 年度上期の業績と仮決算 ～

当組合は地域との共存共栄をスローガンに掲げ、狭域の中、信用組合の原点に立ち返り「顧客との永い取引関係を維持する」ために、持ち味であるフットワークを活かして営業基盤の拡充を図り、協同組織金融機関として組合員皆様の社会的・経済的地域の向上に役立つことを目標に一層地域に密着し、地域の発展に努めています。

＜カーブミラー清掃活動＞  
(しんくみの日週間)



＜海岸清掃活動＞



＜後継者塾講師派遣＞



＜コーポレートスローガン＞

愛される信用組合を目指します

～ おつきあい まごころで ～



＜献血運動＞  
(しんくみの日週間)



＜三輪車 2 時間耐久レース＞



＜どろんこドッジボール＞

ますしん 友の会 — 村上水軍と高知城下町、月の名所桂浜を巡る旅 —

当組合で年金を受給されている皆様等で組織され、年1回(26年度 H26.10.21～10.22)の旅を実施しております。



【 村上水軍博物館 】



【 高知城 】



【 桂浜 】



【 坂本竜馬像 】

## ごあいさつ

皆様方には、日頃より島根益田信用組合に対しまして、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。本年もここに「島根益田信用組合の経営内容について（ミニディスクロージャー誌）」を作成いたしましたので、ご理解を深めていただくための資料として、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。当組合は、信用組合の特性を発揮し、地域社会とのふれあい・絆を大切にしております。今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

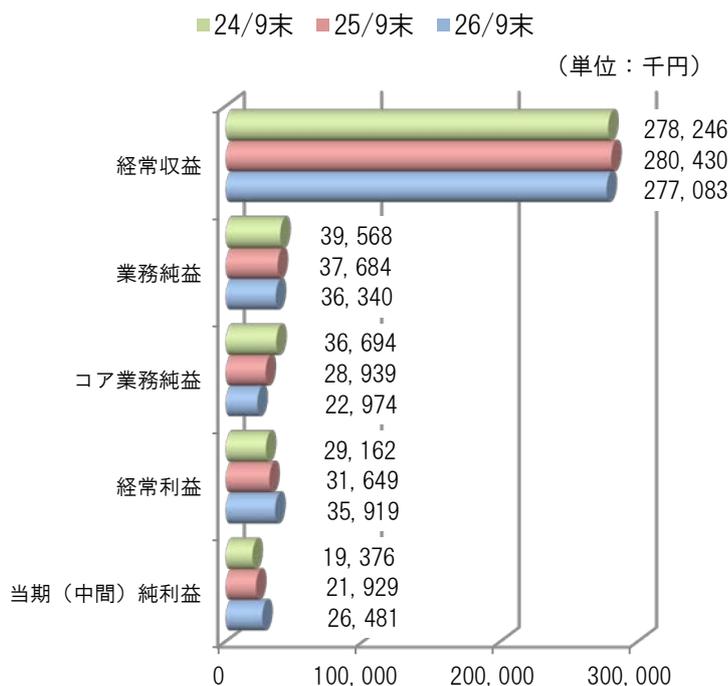
島根益田信用組合  
理事長 大畑寛明

## 1. 損益の状況

売上高にあたる経常収益は、市場競合等による貸出金利の低下に伴い資金運用収益は減少し、前年同月比3百万円減少(△1.19%)して2億77百万円となりました。

費用の面では、役務取引等費用や預金利息等が前年同月比2百万円減少した事から業務費用は1百万円減少(△0.65%)し2億39百万円となりました。個別貸倒引当金が前年同月比5百万円減少した事により、経常費用は前年同月比7百万円減少(△3.06%)の2億41百万円となりました。それにより、業務純益は前年同月比1百万円減少(△3.56%)の36百万円、コア業務純益は前年同月比5百万円減少(△20.61%)の22百万円と減少致しましたが、経常利益は前年同月比4百万円増加(13.49%)の35百万円となりました。

以上の結果から、最終的な純利益については、前年同月比4百万円増加(20.75%)して26百万円となり、平成26年9月末の仮決算は減収増益となりました。

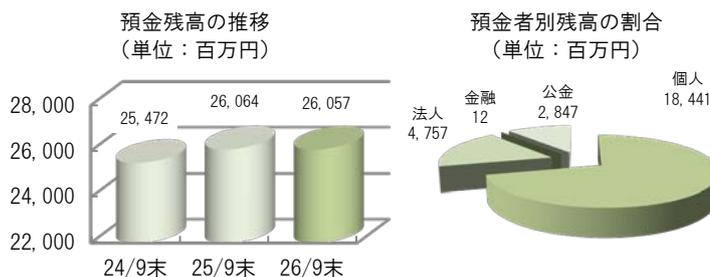


## 2. 預金・貸出金の状況

### (1) 預金

預金残高は、平成25年9月末26,064百万円から7百万円減少し、平成26年9月末26,057百万円となりました。

なお、地域のお客様からの信頼、信用のバロメーターともいべき個人定期預金の残高については平成26年3月末から35百万円増加と好調に推移しております。

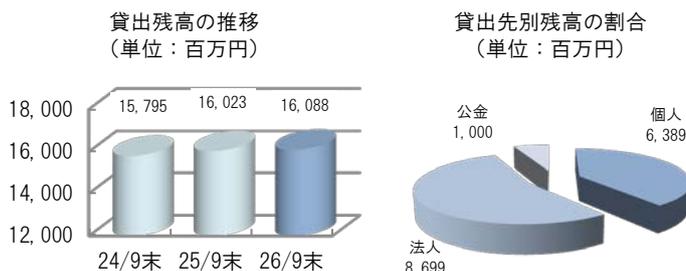


### (2) 貸出金

貸出金残高は、平成25年9月末16,023百万円から65百万円増加し、平成26年9月末16,088百万円となりました。

貸出金残高については、公金232百万円減少、個人貸出は消費税駆け込み需要の反動減の影響もあり5百万円の減少となったものの、法人貸出については、新規訪問活動を積極的に行い、創業や設備投資等の資金ニーズに対応したことで、302百万円増加となっています。

引き続き、地域経済の発展に繋がる融資を目標に、貸出金の増強に取組んで参ります。



貸出金業種別残高・構成比 (単位：百万円)

	残高	構成比
製造業	1,045	6.5%
農業、林業	460	2.9%
漁業	8	0.1%
鉱業、採石業、砂利採取業		
建設業	2,427	15.1%
電気、ガス、熱供給、水道業	244	1.5%
情報通信業	53	0.3%
運輸業、郵便業	460	2.9%
卸売業、小売業	1,929	12.0%
金融業、保険業	250	1.6%
不動産業	665	4.1%
物品賃貸業		
学術研究、専門・技術サービス業		
宿泊業	62	0.4%
飲食業	574	3.6%
生活関連サービス業、娯楽業	90	0.6%
教育、学習支援業	287	1.8%

	残高	構成比
医療、福祉	131	0.8%
その他サービス	1,445	9.0%
その他の産業	84	0.5%
地方公共団体	1,000	6.2%
個人(住宅、消費、納税資金等)	4,866	30.2%
合計	16,088	100.0%

債務者区分別貸出金 (単位：百万円)



※債務者区分とは、債務者の財政状態、資金繰り、収益力の状況等により、その返済能力を検討し、債務者を「正常先」「要注意先」「破綻懸念先」「実質破綻先」「破綻先」の5段階に区分したものです。

3. 財産の状況

資産・負債及び組合員勘定

(単位：千円)

資産の部	25年9月末	26年9月末	負債の部	25年9月末	26年9月末
現金	329,046	401,564	預金	26,064,394	26,057,076
預け金	9,113,067	9,393,389	当座預金	345,539	328,732
有価証券	2,290,898	1,996,793	普通預金	7,908,157	7,887,004
国債	424,655	434,635	貯蓄預金	58,729	49,836
地方債	—	—	通知預金	10,200	25,000
短期社債	—	—	定期預金	16,301,879	16,311,248
社債	1,537,186	1,327,946	定期積金	1,287,913	1,367,906
株式	122,026	133,097	その他の預金	151,974	87,349
その他の証券	207,031	101,115	借入金	—	—
貸出金	16,023,382	16,088,194	その他の負債	83,240	78,871
割引手形	98,640	131,440	賞与引当金	9,915	10,195
手形貸付	237,600	199,550	退職給与引当金	76,541	70,612
証書貸付	14,159,251	14,296,484	役員退職慰労引当金	22,402	25,257
当座貸越	1,527,889	1,460,719	その他の引当金	2,178	2,993
その他資産	297,261	181,483	債務保証	13,167	9,166
有形固定資産	139,073	137,754	負債の部合計	26,271,839	26,254,173
無形固定資産	4,929	4,929			
繰延税金資産	55,523	49,403	純資産の部		
債務保証見返	13,167	9,166	出資金	224,961	226,925
貸倒引当金	△222,133	△179,875	利益剰余金	1,505,748	1,556,809
(うち一般貸倒引当金)	(△90,942)	(△94,378)	評価・換算差額等	41,668	44,896
(うち個別貸倒引当金)	(△131,191)	(△85,497)	純資産の部合計	1,772,377	1,828,631
資産の部合計	28,044,217	28,082,804	負債及び純資産の部合計	28,044,217	28,082,804

損益

科目	25年9月末	26年9月末
経常収益	280,430	277,083
業務収益	278,748	275,828
資金運用収益	258,087	252,801
(うち貸出金利息)	(216,474)	(213,334)
役員取引等収益	11,605	9,612
その他業務収益	9,055	13,414
臨時収益	1,682	1,255
経常費用	248,781	241,163
業務費用	241,063	239,487
資金調達費用	14,556	13,026
(うち預金利息)	(14,471)	(12,959)
役員取引等費用	27,165	25,713
一般貸倒引当金繰入額	205	—
経費	199,136	200,748
臨時費用	7,717	1,675
経常利益	31,649	35,919
業務純益	37,684	36,340
コア業務純益	28,939	22,974
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税引前当期純利益	31,649	35,919
法人税・住民税及び事業税	12,034	10,449
法人税等調整額	△2,314	△1,010
当期(中間)純利益	21,929	26,481

諸利回・諸比率

	25年9月末	26年9月末
資金運用利回	1.91%	1.85%
貸出金利回	2.74%	2.68%
預け金利回	0.48%	0.46%
有価証券利回	1.52%	1.38%
資金調達原価率	1.68%	1.65%
預金利回	0.11%	0.10%
総資金利鞘	0.23%	0.20%
預貸率(末残)	61.47%	61.74%
(平残)	62.15%	61.68%
預証率(末残)	8.78%	7.66%
(平残)	8.47%	8.00%

有価証券の時価情報

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	取得金額	差額
株式	133	133	0
債券	1,863	1,801	62
国債	434	400	34
地方債	—	—	—
短期社債	—	—	—
社債	1,327	1,301	26
その他	101	99	1
合計	1,996	1,934	62

(注)時価は、9月末日における市場価格等に基づいています。なお、その他は「外国証券」となっています。

#### 4. 自己資本の状況

自己資本比率は、26年3月末の14.21%から0.38%低下し、26年9月末13.83%となりました。

国内で業務を行う金融機関の基準である4%の3倍以上という高い水準を維持しているのみならず、大手銀行等の海外で業務を行う金融機関の基準である8%をも大きく上回る高い水準となっており、健全な経営を行っております。

単位：百万円

	26/3末	26/9末
自己資本比率 (A)/(B)×100	14.21%	13.83%
自己資本の額 (A)	1,847	1,878
コア資本に係る基礎項目の額	1,847	1,878
出資金及び資本剰余金の額	225	226
利益剰余金の額	1,539	1,556
外部流出予定額(Δ)	Δ8	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	91	94
コア資本に係る調整項目の額	—	—
リスク・アセット等の合計額 (B)	13,002	13,578

#### 5. 不良債権の状況

金融再生法で定められた開示債権額は、25年9月末の726百万円から197百万円減少し、26年9月末529百万円となりました。

総債権額に占める開示債権額の割合(不良債権比率)については、不良債権額の減少によって、25年9月末4.52%から1.24%低下し、26年9月末3.28%となりました。

なお、26年9月末の開示債権額529百万円は担保、保証等、引当金による保全額471百万円によって、その債権額の89.03%はカバーされております。

単位：百万円

	25/9末	26/9末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	274	143	Δ131
危険債権	381	303	Δ78
要管理債権	70	82	12
開示債権計 A	726	529	Δ197
正常債権	15,323	15,580	257
合計	16,049	16,110	61
担保・保証等 B	575	381	Δ194
貸倒引当金 C	135	90	Δ45
保全額合計 D = B + C	710	471	Δ239
担保、保証等、引当金による保全率 D/A	97.79%	89.03%	Δ8.76%
総債権額 E	16,049	16,110	61
不良債権比率 A/E	4.52%	3.28%	Δ1.24%

#### 6. 金融円滑化の状況

中小企業金融円滑化法は平成25年3月末をもって終了致しましたが、当組合では同法終了後も従来からの方針に変更はなく、引続き、事業資金のご融資をご利用いただいている中小企業者のお客さまが、不安定な経済情勢の影響等によりご返済が困難となった場合や、当組合で住宅ローン等をご利用いただいているお客さまが、勤務先の業績悪化等のご事情により収入が減少し返済が困難となった場合には、当組合の本部と各営業店の「金融円滑化相談等窓口」等において、返済方法の見直し等のお申込み・ご相談に適切な対応を行っております。

なお、円滑化法終了後(平成25年3月)から平成26年9月末までの金融円滑化の実施状況は、以下のとおりとなっております。

貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の額(上段：百万円)と数(下段かっこ内：件)

	[債務者が中小企業者である場合]			[債務者が住宅資金借入者である場合]		
	25/3	26/3	26/9	25/3	26/3	26/9
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	4,874 (630)	6,123 (776)	6,450 (814)	116 (14)	134 (17)	142 (18)
うち、実行に係る貸付債権	4,741 (616)	5,983 (761)	6,310 (799)	79 (12)	97 (15)	105 (16)
うち、謝絶に係る貸付債権	90 (11)	97 (12)	97 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
うち、審査中の貸付債権	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
うち、取下げに係る貸付債権	42 (3)	42 (3)	42 (3)	37 (2)	37 (2)	37 (2)

島根益田信用組合

〒698-0024 島根県益田市駅前町14番23号

E-mail masushin@beach.ocn.ne.jp

TEL0856-22-3030 FAX0856-23-6250

http://shimanemasushin.com/